

静岡県の地域医療支援センターの活動について ～特に専門医取得プログラムについて～

静岡県理事 鶴田憲一

平成 24 年 11 月 29 日

厚生労働省専門医の在り方検討会

1. 静岡県の医師確保上の特殊性

- ・浜松医科大学が設置されるまでは医科大学のない県であったこと。
このため県東部の病院は関東の大学（東大、東医歯大、千葉大、慈恵医大等）、県中部は混在（京大、名大、慶大等）、県西部は関西の大学（名大、京大、長崎大等）から派遣され、他県にある大学からの医師の派遣に依存していること。
- ・400 床以上の自治体病院が多く、10 万人当たりの医師数が少ないこと。
浜松医科大学からは 50 人前後の供給で、県外から 100 名前後流入している。
人口当たりでは 250 名前後が全国の平均。
- ・このため、毎年 100 名に医学修学資金を提供（一般枠、特別枠）
初期研修医が県内病院に勤務してもらうための魅力あるプログラム作りと定着の促進。
後期研修医については複数の病院が連携し、専門医を取れるプログラムの作成
修学資金貸与者には専門医が取れた後、医師の少ない病院へ派遣するプログラム作成

2. 静岡県地域医療支援センターの主要業務について

- ・研修機能 医療の質の向上及び医師を確保するための研修の充実
- ・リクルート機能 医師及び医学生の県内就職を促進するための情報発信、
リクルート活動
- ・医学修学資金貸与者配置機能 医学修学資金貸与者の配置方針の検討
- ・調査機能 県内の各地域及び各病院等の医療に関する調査及び研究

3. 静岡県地域医療支援センターの組織と組織運営について

本部と 3 支部、理事会、本部支部会議

4. 専門医プログラムの作成について

県東部、中部プログラム・・・各病院の部長を中心に作成（支部会議で病院長合意）
県西部プログラム・・・浜松医科大学を中心に作成
プログラム作成・維持・向上に経済的支援
後期研修医、指導医に対する経済的支援

参考資料：静岡県専門医研修ネットワークプログラム

静岡県の明日の医師を育てる

＜静岡県専門医研修ネットワークプログラム（後期研修）の例＞

静岡県専門医研修ネットワークプログラム

（※平成24年10月現在で、43人（1年目38名、2年目4人、3年目1人。奨学金貸与者7名を含む）がプログラム参加。静岡県の地域医療支援センターにより総合調整。）

～キャリア形成のモデル(循環器・静岡県中部版)～

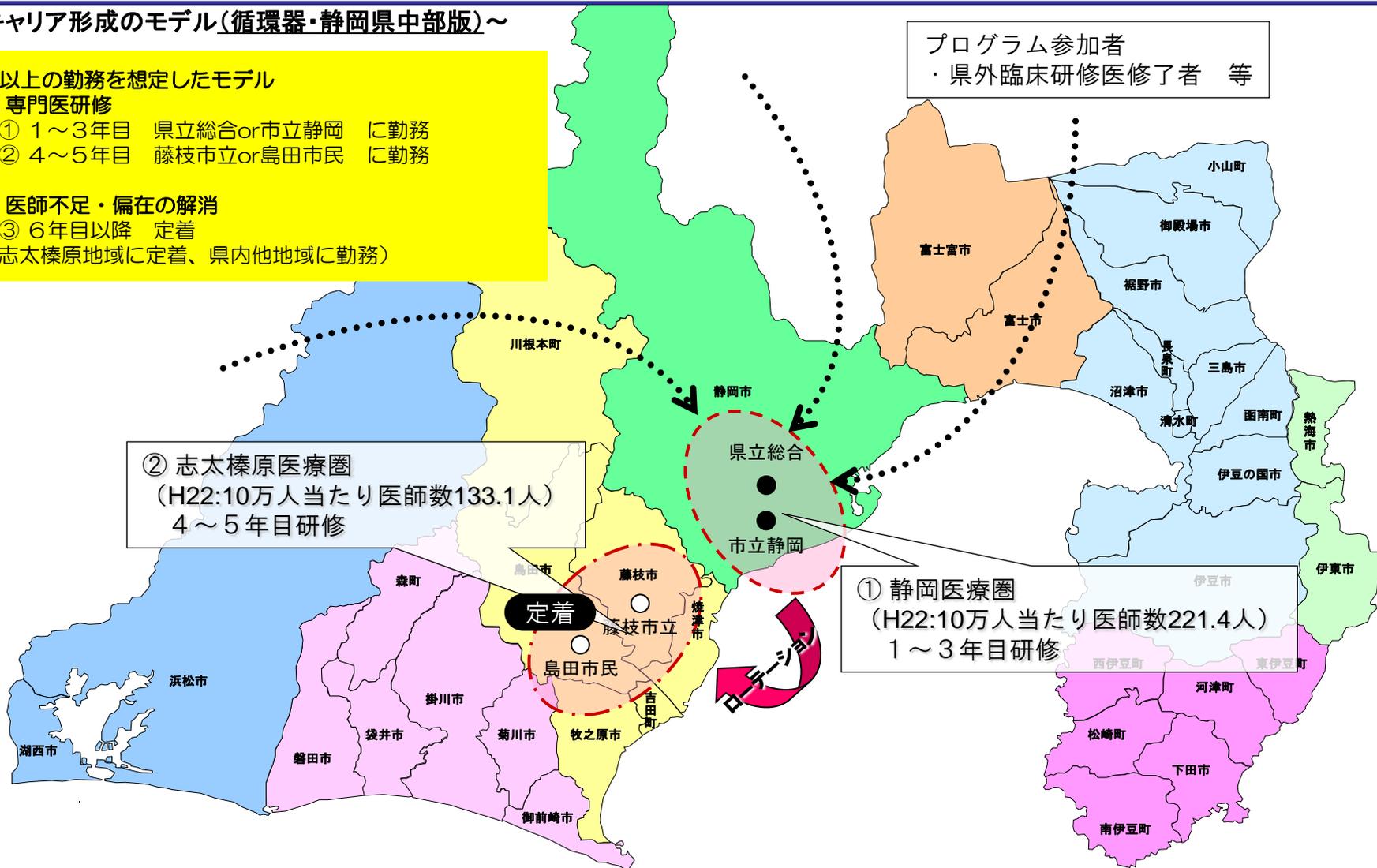
6年以上の勤務を想定したモデル

○ 専門医研修

- ① 1～3年目 県立総合or市立静岡 に勤務
- ② 4～5年目 藤枝市立or島田市民 に勤務

○ 医師不足・偏在の解消

- ③ 6年目以降 定着
(志太榛原地域に定着、県内他地域に勤務)



特徴【キャリアを優先しつつ、医師不足等へも対応】

- ・プログラム参加中は、静岡地域の病院による基礎的能力の習得と志太榛原地域（医師不足地域）における症例の積み上げ
- ・専門医資格取得後は、定着を促進

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目 (医師3年目)	静岡県立総合病院（虚血性心疾患、不整脈、心不全などを総合的に診断治療）											
	静岡市立静岡病院（狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈と、あらゆる心臓の病気を治療）											
2年目 (医師4年目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	静岡県立総合病院						静岡市立静岡病院					
	静岡市立静岡病院						静岡県立総合病院					
3年目 (医師5年目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	静岡市立静岡病院											
	静岡県立総合病院											
4年目 (医師6年目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	島田市民病院 or 藤枝市立総合病院（慢性疾患から急性疾患まで多くの症例を経験）											
5年目 (医師7年目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	島田市民病院 or 藤枝市立総合病院											
©循環器専門医資格認定試験												